

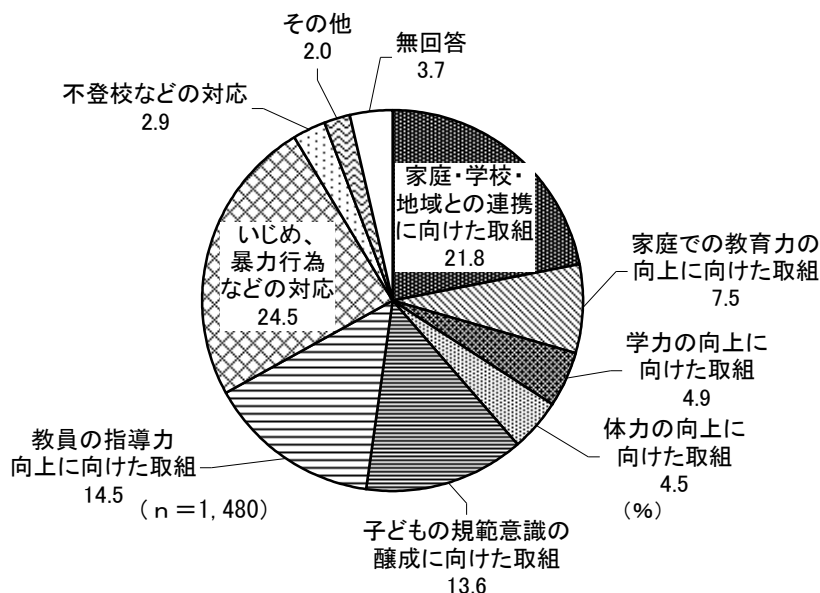
7 教育・生涯学習・文化・スポーツ

(1) 現在の教育への取組 (A: 問13)

問. 現在の教育において、どのような取組が重要であると思いますか。

(1つだけ選んでください)

図7-1-1 現在の教育への取組



【全体】

現在の教育において、どのような取組が重要であるかについて聞いたところ、「いじめ、暴力行為などの対応」(24.5%)が2割半ばで最も高く、次いで「家庭・学校・地域との連携に向けた取組」(21.8%)、「教員の指導力向上に向けた取組」(14.5%)、「子どもの規範意識の醸成に向けた取組」(13.6%)、「家庭での教育力の向上に向けた取組」(7.5%)となっている。

【経年変化】

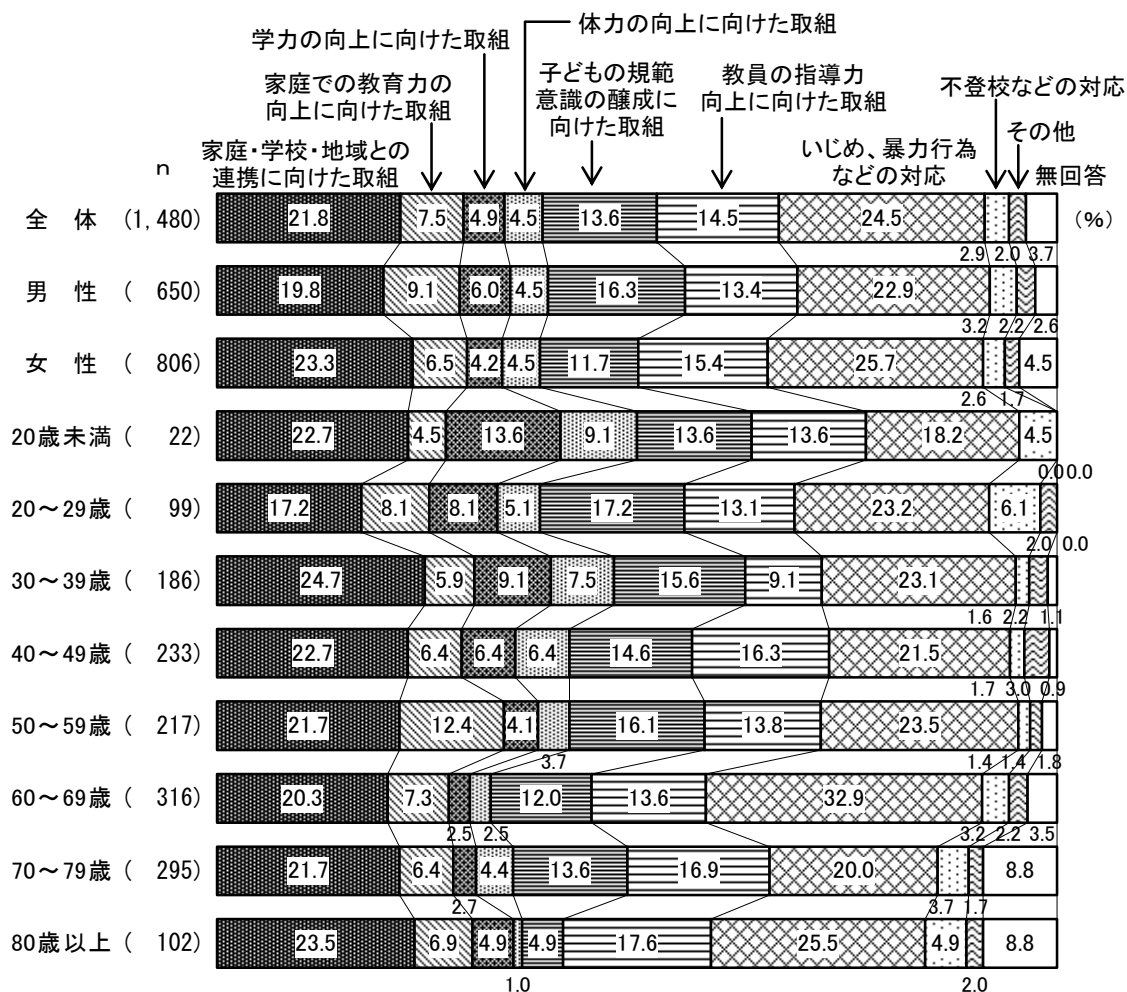
平成29年度調査では、質問文と選択肢が大幅に異なっているため、経年変化は掲載していない。

【属性別】

性別で見ると、女性では「家庭・学校・地域との連携に向けた取組」（23.3%）が男性（19.8%）より3.5ポイント高くなっている。一方、男性では「子どもの規範意識の醸成に向けた取組」（16.3%）が女性（11.7%）より4.6ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、60～69歳では「いじめ、暴力行為などの対応」（32.9%）が3割半ば近くで高くなっている。20歳未満では「学力の向上に向けた取組」（13.6%）が1割半ば近くとなっている。

図7-1-2 現在の教育への取組—性別、年齢別

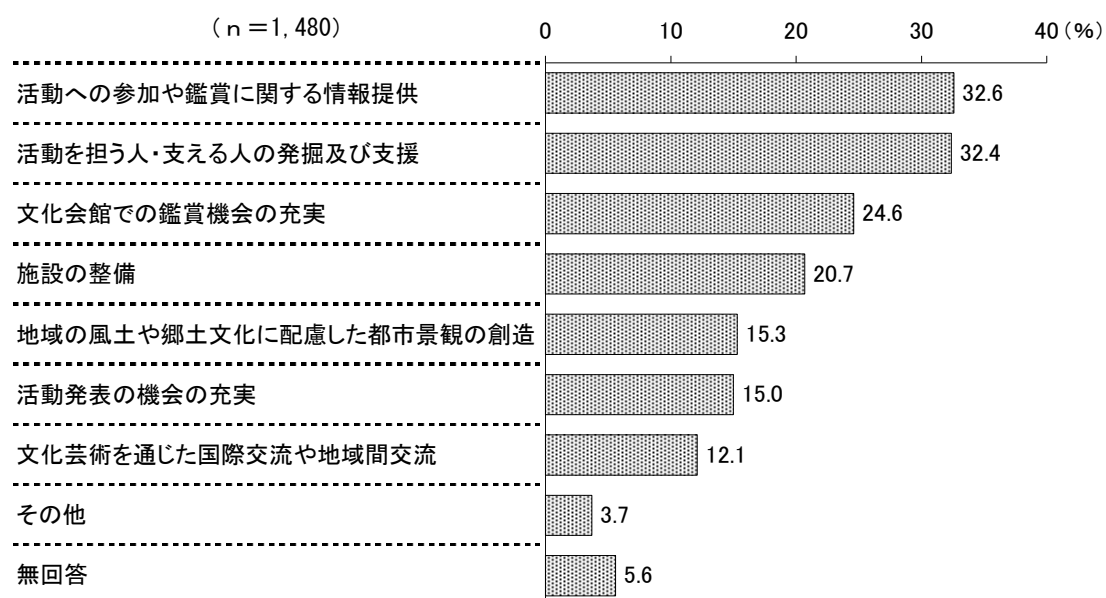


（２）文化芸術活動を充実させる取組（Ａ：問１４）

問．文化芸術活動をより充実させるために、どのような取組が必要であると思いますか。

（２つまで選んでください）

図７－２－１ 文化芸術活動を充実させる取組



【全体】

文化芸術活動を充実させる取組について聞いたところ、「活動への参加や鑑賞に関する情報提供」（32.6％）と「活動を担う人・支える人の発掘及び支援」（32.4％）がともに３割を超えて高く、次いで「文化会館での鑑賞機会の充実」（24.6％）、「施設の整備」（20.7％）、「地域の風土や郷土文化に配慮した都市景観の創造」（15.3％）、「活動発表の機会の充実」（15.0％）となっている。

【経年変化】

平成29年度調査では、選択肢が過去と異なっているため、参考に記載する。

表7-2-1 文化芸術活動を充実させる取組—経年変化（上位5項目）

(%)

順位	平成29年度 (n=1,480)	平成27年度 (n=1,445)	平成25年度 (n=1,284)	平成23年度 (n=815)	平成21年度 (n=1,608)	平成19年度 (n=1,500)
1	活動への参加 や鑑賞に関する 情報提供 32.6	文化芸術活動 や鑑賞活動な どの情報提供 37.0	文化芸術活動 や鑑賞活動な どの情報提供 34.3	芸術文化活動 や鑑賞活動な どの情報提供 34.5	芸術文化活動 や鑑賞活動な どの情報提供 33.2	芸術文化活動 や鑑賞活動な どの情報提供 34.6
2	活動を担う 人・支える人 の発掘及び支 援 32.4	魅力ある都市 景観の創造 33.1	魅力ある都市 景観の創造 32.9	文化会館での 鑑賞機会の充 実 30.7	魅力ある都市 景観の創造 30.8	文化会館での 鑑賞機会の充 実 32.4
3	文化会館での 鑑賞機会の充 実 24.6	文化会館での 鑑賞機会の充 実 31.5	文化会館での 鑑賞機会の充 実 30.1	魅力ある都市 景観の創造 29.4	文化会館での 鑑賞機会の充 実 30.5	魅力ある都市 景観の創造 28.2
4	施設の整備 20.7	学校や福祉施 設など、文化 会館以外での 鑑賞機会の充 実 27.7	学校や福祉施 設など、文化 会館以外での 鑑賞機会の充 実 26.5	学校や福祉施 設など、文化 会館以外での 鑑賞機会の充 実 25.3	学校や福祉施 設など、文化 会館以外での 鑑賞機会の充 実 26.7	学校や福祉施 設など、文化 会館以外での 鑑賞機会の充 実 27.8
5	地域の風土や 郷土文化に配 慮した都市景 観の創造 15.3	市街地での文 化芸術イベン トの充実 26.4	市街地での文 化芸術イベン トの充実 22.8	市街地での文 化芸術イベン トの充実 22.9	文化財や伝統 芸能などの保 存・継承 20.1	文化財や伝統 芸能などの保 存・継承 24.1

（注）平成29年度調査では、「活動を担う人・支える人の発掘及び支援」と「活動発表の機会の充実」の選択肢を追加している。

【属性別】

性別で見ると、女性では「文化会館での鑑賞機会の充実」（27.9％）が男性（20.9％）より7.0ポイント、「活動への参加や鑑賞に関する情報提供」（35.0％）が男性（29.5％）より5.5ポイント高くなっている。一方、男性では「地域の風土や郷土文化に配慮した都市景観の創造」（18.0％）が女性（13.2％）より4.8ポイント、「活動を担う人・支える人の発掘及び支援」（34.8％）が女性（30.6％）より4.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、30～39歳では「活動への参加や鑑賞に関する情報提供」（39.2％）が約4割と高くなっている。20～29歳では「施設の整備」（29.3％）が約3割と高くなっている。20歳未満では「文化芸術を通じた国際交流や地域間交流」（22.7％）が2割半ば近くと高くなっている。

表7-2-2 文化芸術活動を充実させる取組—性別、年齢別

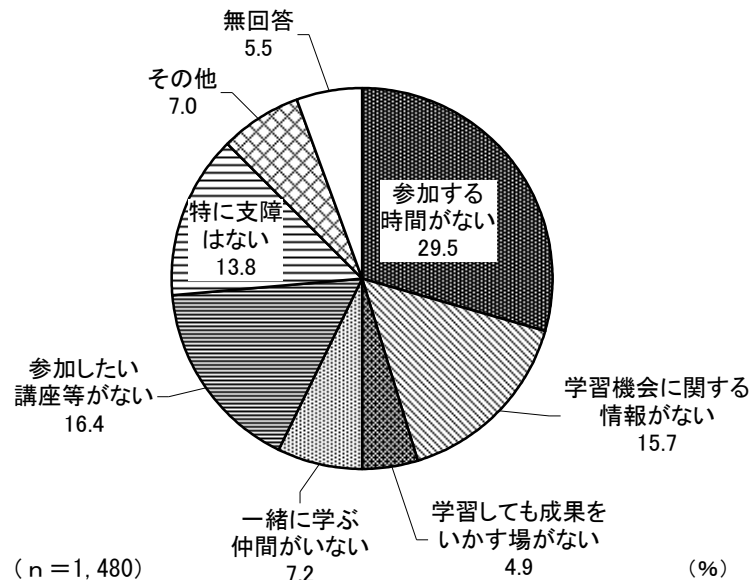
(%)

		n	活動への参加や鑑賞に関する情報提供	活動を担う人・支える人の発掘及び支援	文化会館での鑑賞機会の充実	施設の整備	地域の風土や郷土文化に配慮した都市景観の創造	活動発表の機会の充実	文化芸術を通じた国際交流や地域間交流	その他	無回答
全 体		1,480	32.6	32.4	24.6	20.7	15.3	15.0	12.1	3.7	5.6
性別	男 性	650	29.5	34.8	20.9	21.5	18.0	15.5	13.1	4.6	4.3
	女 性	806	35.0	30.6	27.9	20.2	13.2	14.1	11.3	2.7	6.6
年齢別	20歳未満	22	27.3	36.4	27.3	18.2	22.7	9.1	22.7	—	4.5
	20～29歳	99	27.3	35.4	23.2	29.3	16.2	18.2	8.1	5.1	1.0
	30～39歳	186	39.2	31.2	22.6	24.7	12.4	14.5	15.1	2.2	1.6
	40～49歳	233	31.8	28.8	26.6	22.7	13.7	18.0	10.3	5.2	2.1
	50～59歳	217	35.0	28.6	30.4	22.6	12.4	15.7	12.4	1.8	2.8
	60～69歳	316	34.8	35.8	21.2	15.8	17.1	14.2	13.3	4.1	6.0
	70～79歳	295	28.8	33.6	23.7	18.3	17.3	12.5	11.2	4.1	10.5
	80歳以上	102	26.5	32.4	26.5	18.6	18.6	12.7	8.8	4.9	15.7

(3) 生涯学習活動に参加する上で支障になること (A：問15)

問. 講座・教育などの学習活動へ参加を検討する場合、どのような理由が妨げとなりますか。
(1つだけ選んでください)

図7-3-1 生涯学習活動に参加する上で支障になること



【全体】

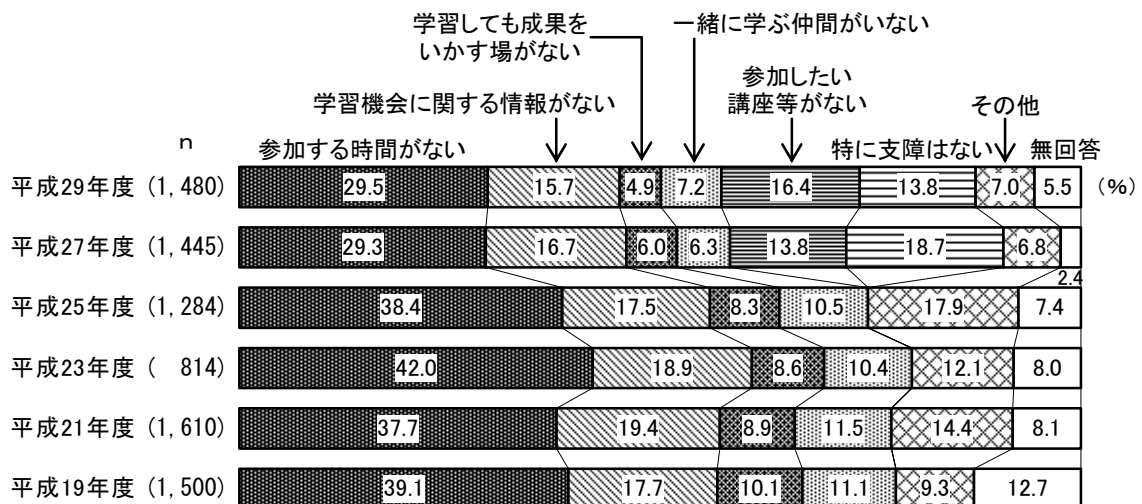
生涯学習活動に参加する上で支障になることについて聞いたところ、「参加する時間がない」(29.5%)が約3割で最も高く、次いで「参加したい講座等がない」(16.4%)、「学習機会に関する情報がない」(15.7%)、「一緒に学ぶ仲間がいない」(7.2%)となっている。

【経年変化】

経年による変化を見ると、平成27年度調査と比べて大きな差異は見られない。

また、平成25年度以前の調査では、一部の選択肢が異なっているため、参考に記載する。

図7-3-2 生涯学習活動に参加する上で支障になること—経年変化



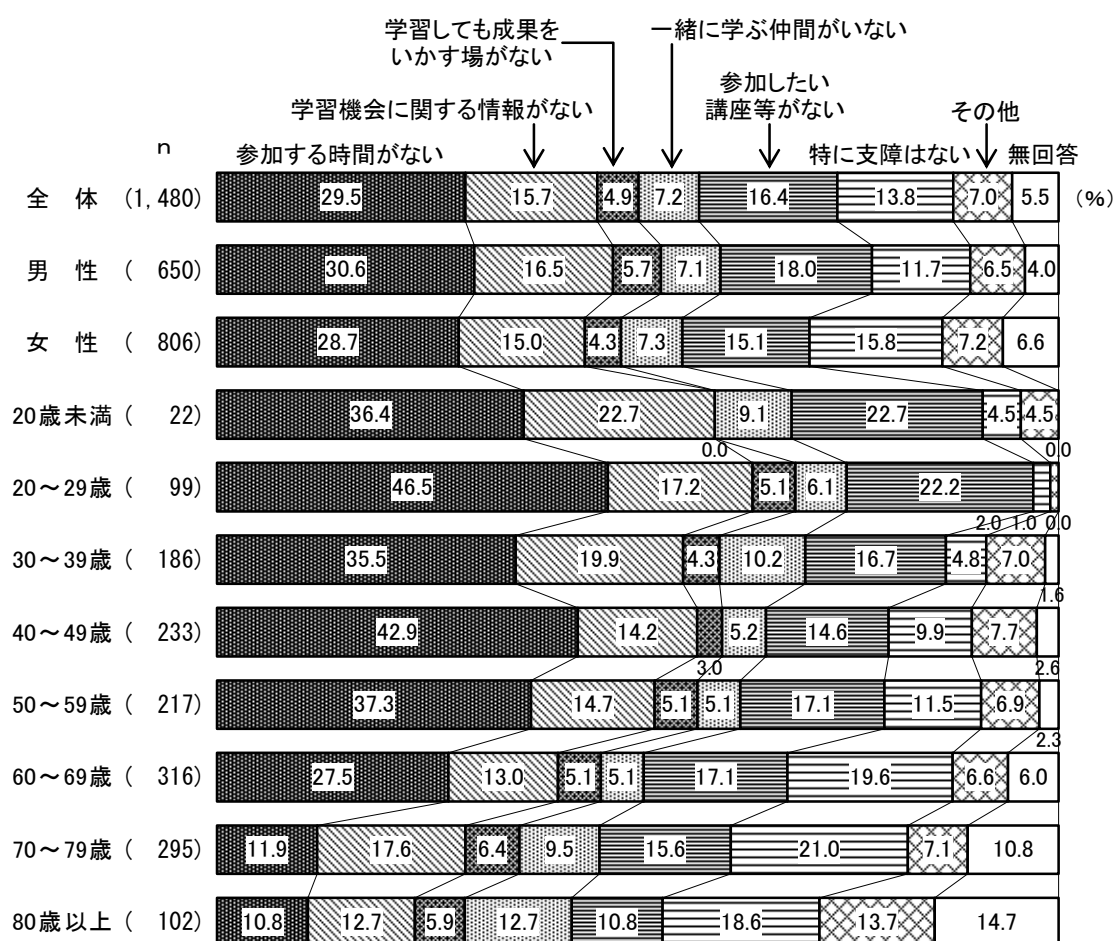
(注) 平成27年度調査以降では、「参加したい講座等がない」と「特に支障はない」の選択肢を追加している。

【属性別】

性別で見ると、女性では「特に支障はない」（15.8％）が男性（11.7％）より4.1ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20～29歳と40～49歳では「参加する時間がない」が4割台と高くなっている。20歳未満～29歳では「参加したい講座等がない」が2割を超えて高くなっている。20歳未満では「学習機会に関する情報がない」（22.7％）が2割半ば近くと高くなっている。60～80歳以上では「特に支障はない」が2割前後と高くなっている。

図7-3-3 生涯学習活動に参加する上で支障になること一性別、年齢別

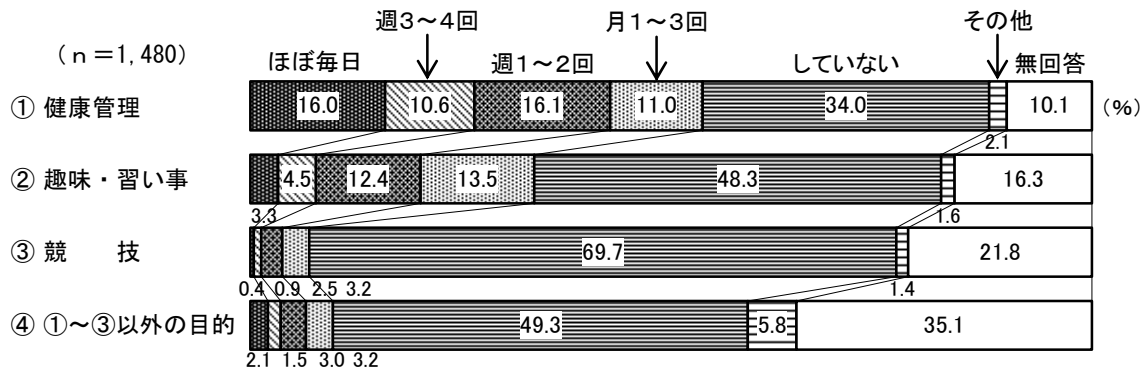


(4) スポーツをする目的・頻度 (A：問16)

問. 運動（スポーツ）をどのような目的で、また、どのくらいの頻度で行っていますか。

(①～④について、それぞれ該当するものを1つ選んでください)

図7-4-1 スポーツをする目的・頻度



【全体】

スポーツをする目的・頻度について、4つの目的別に頻度を聞いたところ、いずれも「していない」が高くなっている。①健康管理では「ほぼ毎日」(16.0%)と「週1～2回」(16.1%)がともに1割半ばを超えて高く、次いで「月1～3回」(11.0%)、「週3～4回」(10.6%)となっている。

②趣味・習い事では、「月1～3回」(13.5%)と「週1～2回」(12.4%)がともに1割を超えている。

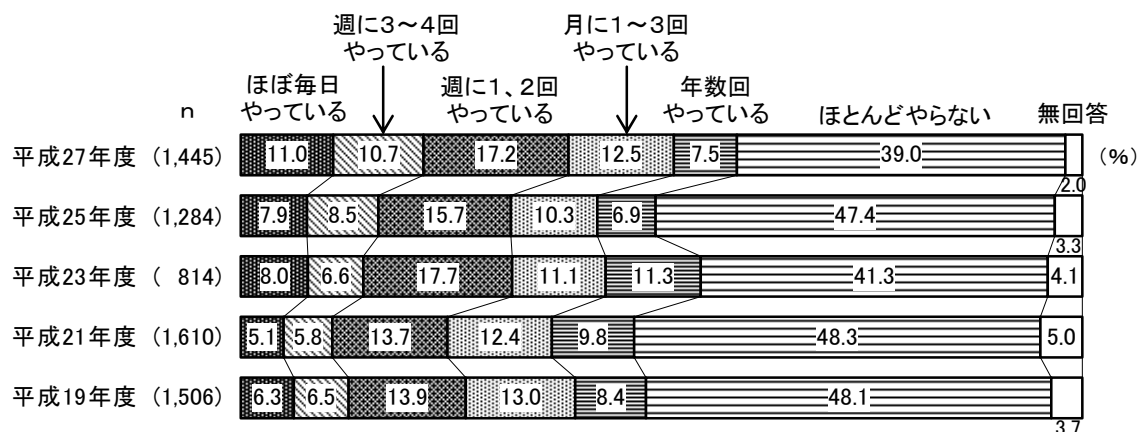
③競技では、「ほぼ毎日」(0.4%)と「週3～4回」(0.9%)、「週1～2回」(2.5%)、「月1～3回」(3.2%)の4つを合わせた『している』(7.0%)は1割未満となっている。

④ ①～③以外の目的では、「ほぼ毎日」(2.1%)と「週3～4回」(1.5%)、「週1～2回」(3.0%)、「月1～3回」(3.2%)の4つを合わせた『している』(9.8%)は約1割となっている。

【経年変化】

平成27年度以前の調査では、目的を問わずにスポーツをする頻度について聴いており、質問の形式や選択肢が異なっているため、平成27年度以前の調査結果を参考に記載する。

図7-4-2 スポーツをする頻度一過去の調査結果

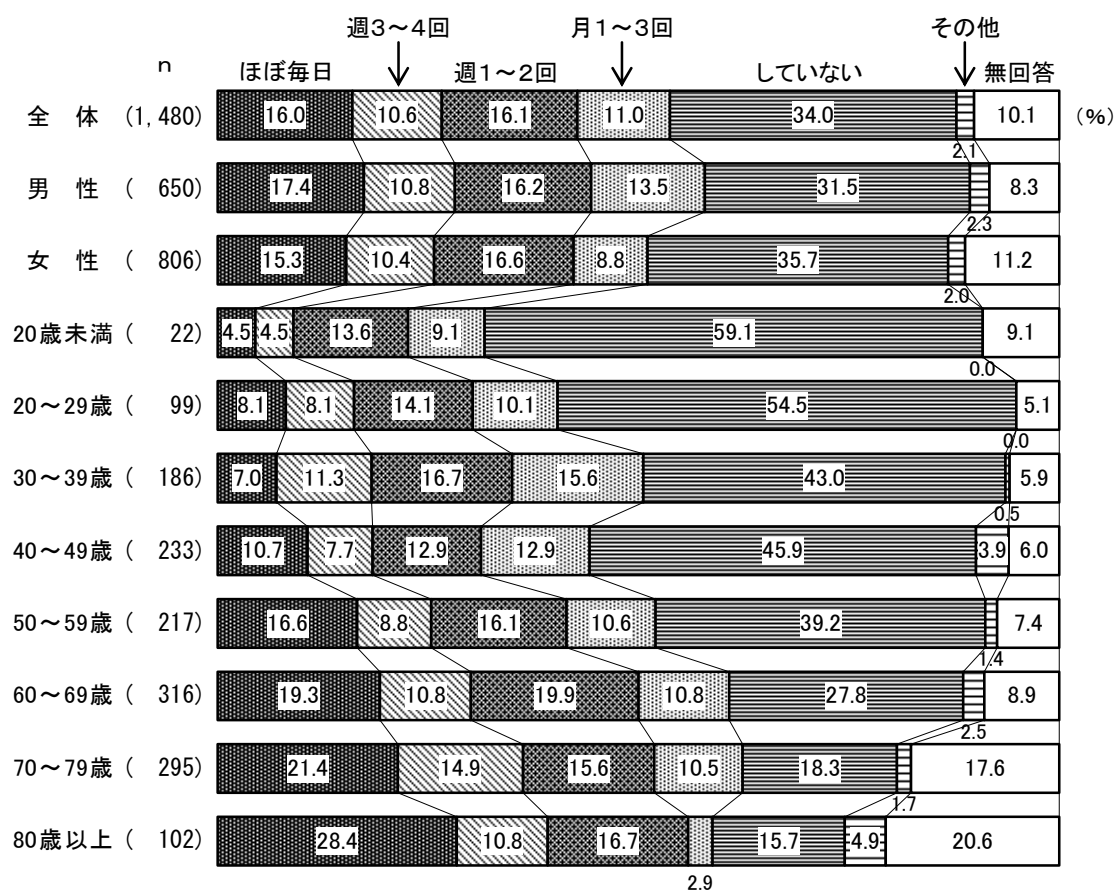


【属性別】①健康管理

①健康管理について性別で見ると、男性では『している』(57.9%)が女性(51.1%)より6.8ポイント高くなっている。一方、女性では「していない」(35.7%)が男性(31.5%)より4.2ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、60～79歳では『している』が6割台と高くなっている。70～80歳以上では「ほぼ毎日」が2割台と高くなっている。20歳未満～29歳では「していない」が5割台と高くなっている。

図7-4-3 スポーツをする目的・頻度 ①健康管理—性別、年齢別

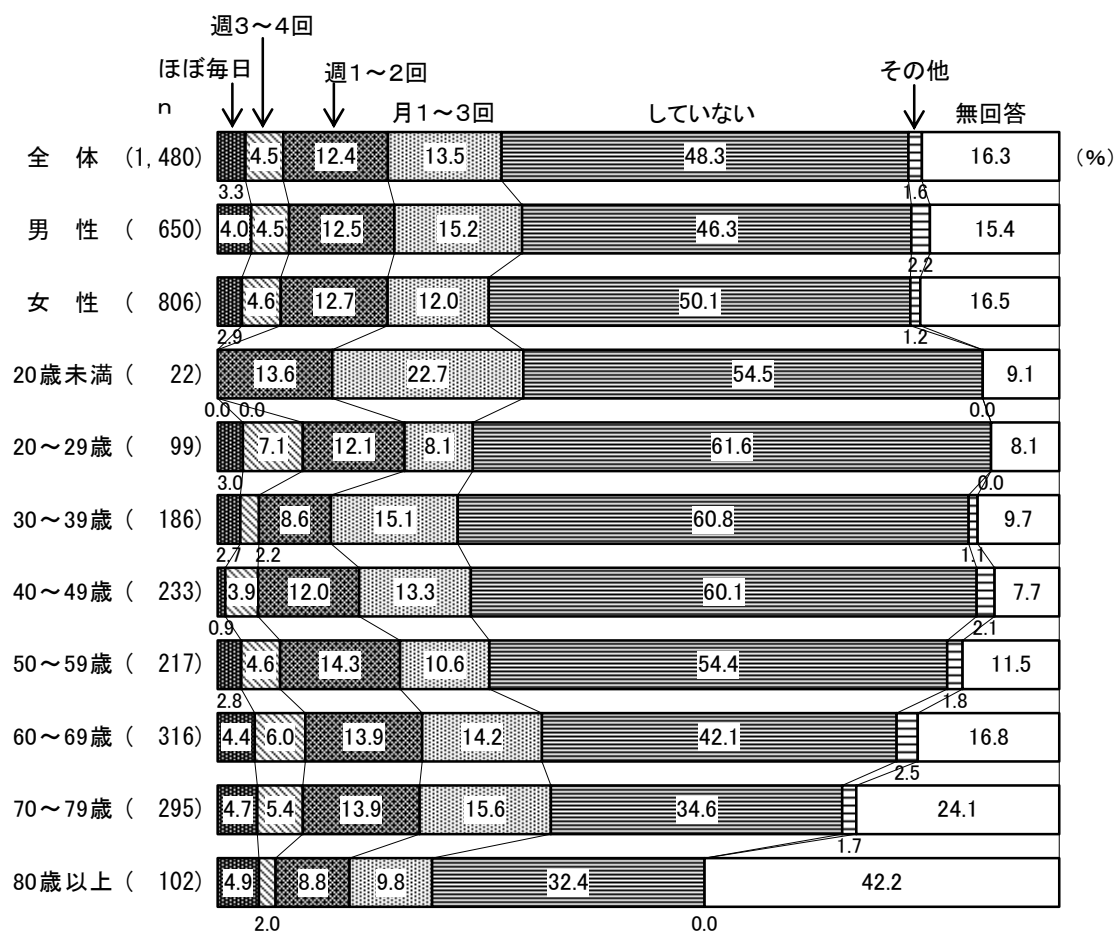


【属性別】②趣味・習い事

②趣味・習い事について性別で見ると、男性では『している』(36.2%)が女性(32.2%)より4.0ポイント高くなっている。一方、女性では「していない」(50.1%)が男性(46.3%)より3.8ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、60～79歳では『している』が3割台後半と高くなっている。20～49歳では「していない」が6割台と高くなっている。

図7-4-4 スポーツをする目的・頻度 ②趣味・習い事—性別、年齢別

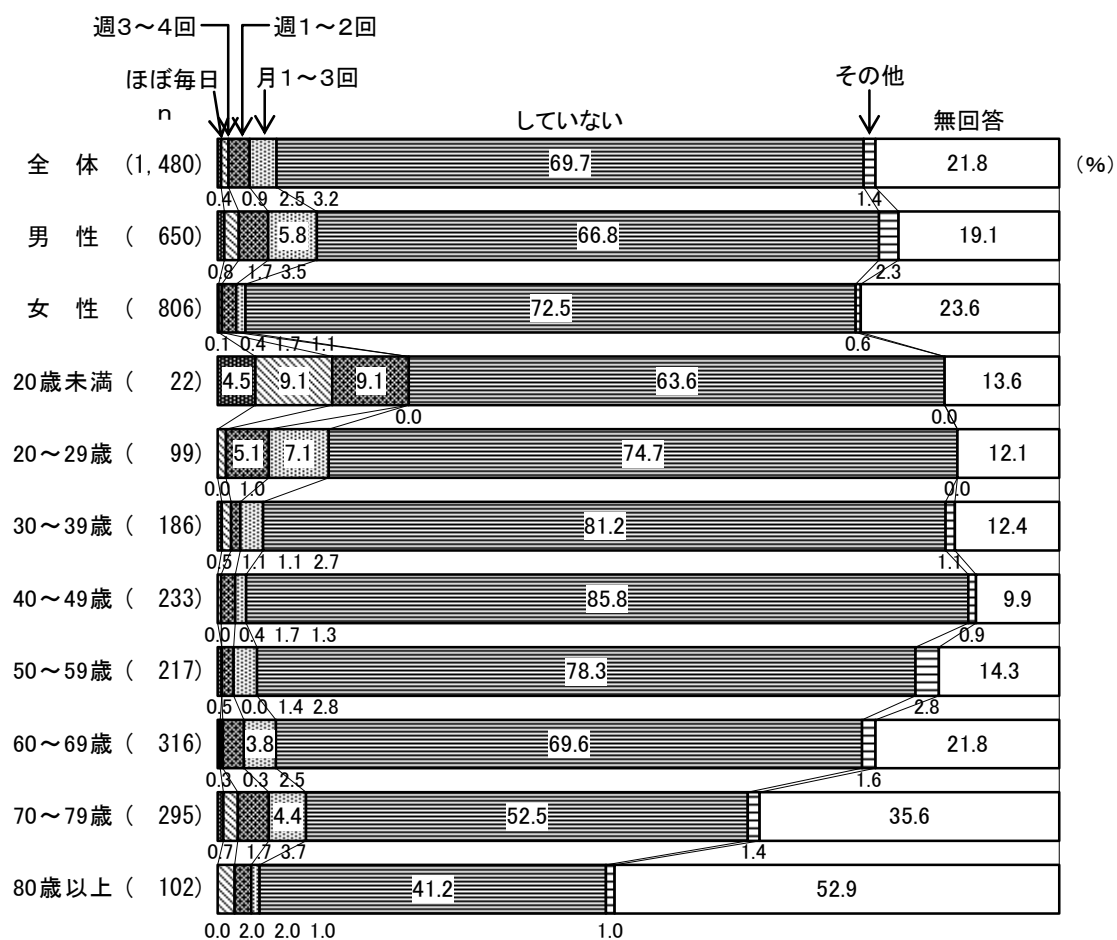


【属性別】③競技

③競技について性別で見ると、男性では『している』（11.8%）が女性（3.3%）より8.5ポイント高くなっている。一方、女性では「していない」（72.5%）が男性（66.8%）より5.7ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20歳未満では『している』（22.7%）が2割半ば近くと高くなっている。

図7-4-5 スポーツをする目的・頻度 ③競技—性別、年齢別

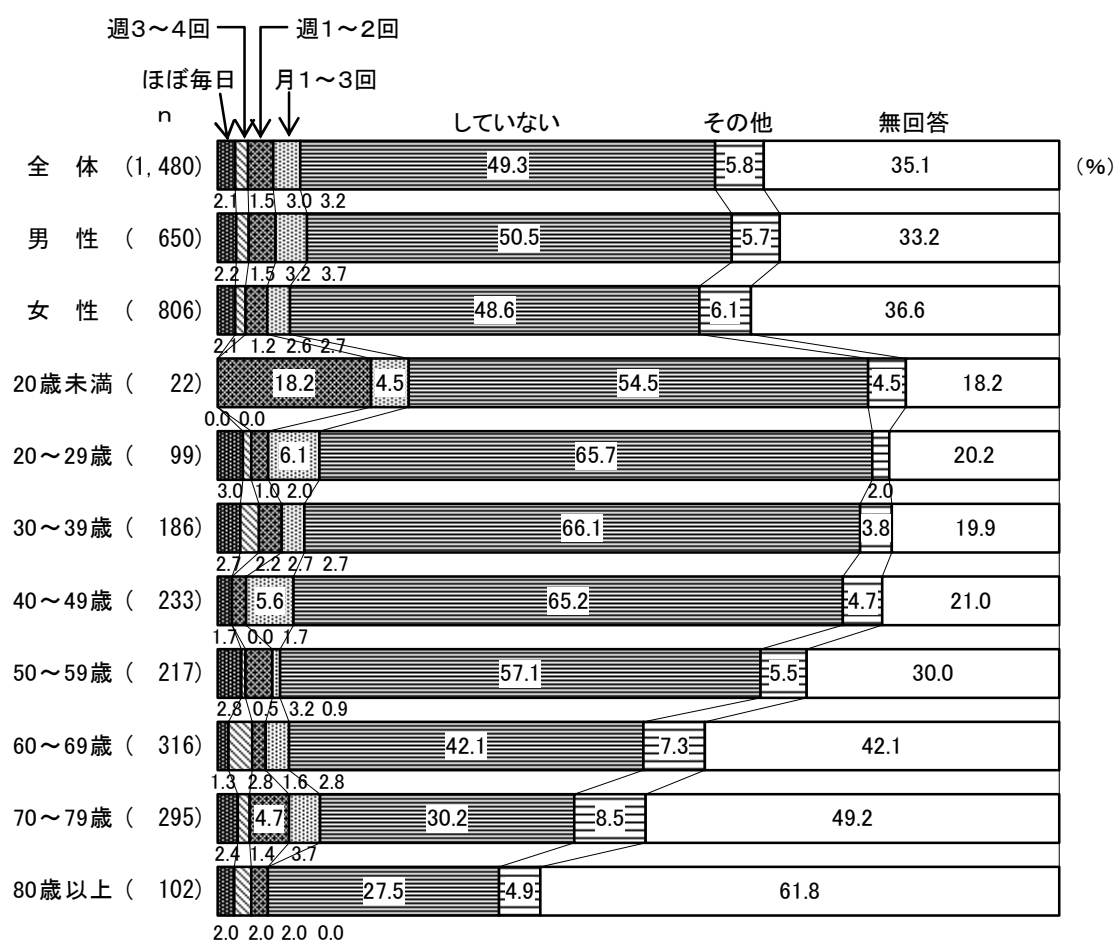


【属性別】④ ①～③以外の目的

④ ①～③以外の目的について性別で見ると、大きな差異は見られない。

年齢別で見ると、20歳未満では『している』（22.7%）が2割半ば近くと高くなっている。

図7-4-6 スポーツをする目的・頻度 ④ ①～③以外の目的一性別、年齢別

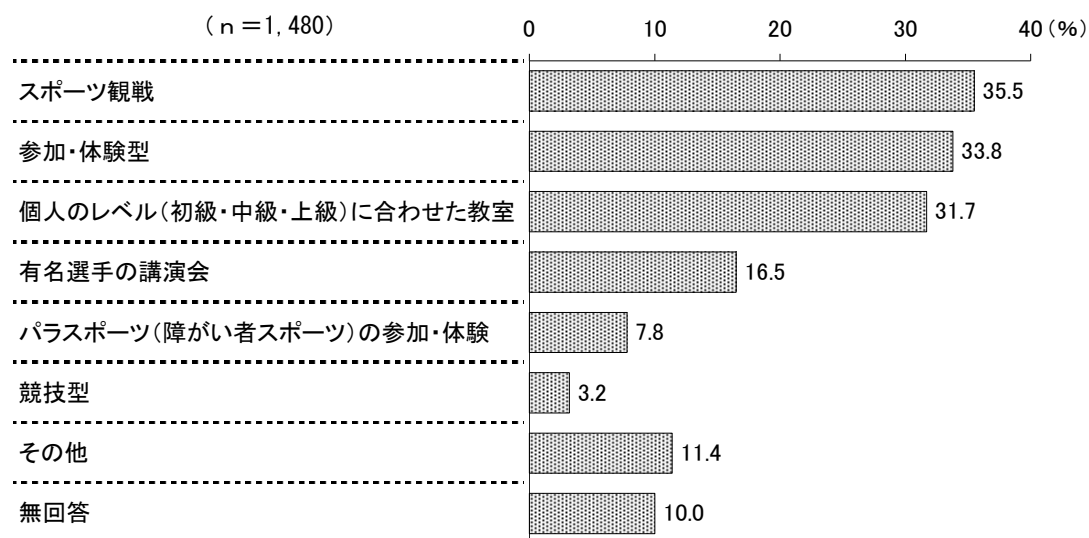


(5) 開催してほしいスポーツイベント（A：問17）

問. 今後、どのようなスポーツイベントを開催してほしいですか。

（いくつでも選んでください）

図7-5-1 開催してほしいスポーツイベント



【全体】

開催してほしいスポーツイベントについて聞いたところ、「スポーツ観戦」（35.5%）が3割半ばで最も高く、次いで「参加・体験型」（33.8%）、「個人のレベル（初級・中級・上級）に合わせた教室」（31.7%）、「有名選手の講演会」（16.5%）、「パラスポーツ（障がい者スポーツ）の参加・体験」（7.8%）となっている。

【経年変化】

平成29年度調査では、質問文及び選択肢が過去と異なっているため、参考に記載する。

表7-5-1 開催してほしいスポーツイベントー経年変化（上位5項目）

(%)

順位	平成29年度 (n=1,480)	平成27年度 (n=1,445)	平成25年度 (n=1,284)	平成23年度 (n=814)	平成21年度 (n=1,610)	平成19年度 (n=1,506)
1	スポーツ観戦 35.5	初心者向きの スポーツ教室 やイベント 28.9	初心者向きの スポーツ教室 やイベント 24.1	参加型の大会 やイベント 24.4	初心者向きの スポーツ教室 やイベント 22.5	初心者を対象 としたスポー ツ大会やイベ ント 20.2
2	参加・体験型 33.8	参加型の大会 やイベント 25.9	参加型の大会 やイベント 18.1	初心者向きの スポーツ教室 やイベント 22.5	参加型の大会 やイベント 18.8	有名スポーツ 選手を招いて 行うスポーツ に関する講演 やスポーツ教 室、イベント 16.1
3	個人のレベル (初級・中級・ 上級)に合わ せた教室 31.7	公民館で 実施する各種 スポーツイベ ントやスポー ツ教室 20.3	公民館で 実施する各種 スポーツイベ ントやスポー ツ教室 16.6	有名スポーツ 選手を招いて の講演会やス ポーツ教室、 イベント 18.8	有名スポーツ 選手を招いて の講演会やス ポーツ教室、 イベント 18.3	公民館で実施 する各種ス ポーツイベ ントやスポー ツ教室 12.4
4	有名選手の 講演会 16.5	有名スポーツ 選手を招いて の講演会やス ポーツ教室、 イベント 19.9	有名スポーツ 選手を招いて の講演会やス ポーツ教室、 イベント 13.3	公民館で 実施する各種 スポーツイベ ントやスポー ツ教室 15.0	公民館で 実施する各種 スポーツイベ ントやスポー ツ教室 14.2	勝敗を競うこ とを主な目的 としない大会 やイベント 10.5
5	パラスポーツ (障がい者ス ポーツ)の 参加・体験 7.8	順位を競う大 会やイベント 6.6	順位を競う大 会やイベント 4.0	順位を競う大 会やイベント 4.3	順位を競う大 会やイベント 4.5	勝敗を競うこ とを主な目的 とした大会や イベント 6.8

(注) 平成27年度調査以前では、「今後、参加してみたいと思うスポーツイベントは何ですか。」(複数回答)と質問していた。

【属性別】

性別で見ると、男性では「スポーツ観戦」（41.2％）が女性（31.4％）より9.8ポイント高くなっている。一方、女性では「個人のレベル（初級・中級・上級）に合わせた教室」（36.0％）が男性（25.7％）より10.3ポイント高くなっている。

年齢別で見ると、20歳未満では「スポーツ観戦」（63.6％）が6割半ば近くと高くなっている。30～39歳と50～59歳では「参加・体験型」が4割を超えて高くなっている。

表7-5-2 開催してほしいスポーツイベントー性別、年齢別

(%)

		n	スポーツ観戦	参加・体験型	個人のレベル（初級・中級・上級）に合わせた教室	有名選手の講演会	パラスポーツ（障がい者スポーツ）の参加・体験	競技型	その他	無回答
全 体		1,480	35.5	33.8	31.7	16.5	7.8	3.2	11.4	10.0
性別	男 性	650	41.2	32.8	25.7	18.3	8.2	5.1	12.6	8.8
	女 性	806	31.4	33.9	36.0	15.3	7.6	1.7	10.5	10.9
年齢別	20 歳 未 満	22	63.6	36.4	27.3	18.2	18.2	13.6	－	4.5
	20 ～ 29 歳	99	37.4	36.4	35.4	21.2	5.1	5.1	10.1	2.0
	30 ～ 39 歳	186	43.5	41.9	36.0	22.0	12.4	5.9	5.9	3.8
	40 ～ 49 歳	233	39.1	35.2	27.0	19.3	9.0	3.4	12.4	3.4
	50 ～ 59 歳	217	41.9	41.0	29.5	19.8	9.2	2.8	10.6	7.8
	60 ～ 69 歳	316	34.2	32.9	34.5	12.3	7.0	2.2	11.4	10.4
	70 ～ 79 歳	295	28.1	27.1	33.6	12.2	5.1	1.7	13.6	18.0
	80 歳 以 上	102	17.6	16.7	20.6	12.7	4.9	2.0	19.6	25.5